

社会教育実習報告書

| | | | |
|----------------|---|---|--|
| 事業名 | 社会教育実習 | | |
| 趣 旨 | 大学との連携・協力のもと社会教育実習を受講する学生を対象として青少年教育の現状および青少年教育施設の役割について、体験を通して学習する機会を提供するために社会教育実習生の受け入れを行う。 | | |
| 期 間 | 平成24年8月14日(火)～平成24年10月7日(日) | | |
| 募集人員 (募集結果) | 社会教育実習を希望する大学 (参加校：3大学 12名 筑波大学・大正大学・東北学院大学) | | |
| 事業の特色 | <p>この事業は、社会教育実習を希望する学生に対して体験を通じた学びの機会を提供することを目的に、自然の家の業務を通じた実習を行った。また、期間中に利用している小学校のプログラムにも補助として参加し社会教育についての理解を深めた。</p> <p>実習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：3単位 ・ 実習：(教育事業の補助・研修支援事業の補助・団体プログラム参加・施設環境整備・学生自主プログラム等) | | |
| |  |  |  |
| | <p>【講義風景】</p> <p>講義により社会教育について理解を深めた。</p> | <p>【研修支援事業 つどい補助】</p> <p>朝・夕のつどいの進行を補助し、社会教育施設の運営の理解を深めた。</p> | <p>【教育事業 運営補助】</p> <p>教育事業の運営補助をしながらプログラム構成や実施方法の理解を深めた。</p> |
| 事業の成果と課題 | <p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の家の業務を通して社会教育について学ぶ機会を提供できた。 ・ 学生自主プログラム「自然の家で育まれる仲間意識についての調査」をテーマに利用団体の小学校と連携を取り調査研究をした。十分な成果までは至らなかったが、研究を進める土台ができ、今後の実習の足がかりとなった。 <p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の影響のため、昨年度については1校の実施であったが関東圏の大学からも実習参加があり3校に増えたが、他に2～3校と連携を取りながら実施していきたい。 | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ セカンドスクールの教育支援スタッフとしても関わる場合があるため、どの学生に対しても十分な事前指導を行いたい。 | | |